# 株式会社 安成板金工作所

## 機械安全カバー 安全性と軽量化を追求

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

若手社員が多い現場は活気に満ちている

**主な事業内容**
板金・製缶加工

**主な取引先(納入先)**
送風機、コンプレッサ、ポンプ、農機具、大手家電などのメーカー

**主な製品**
諸機械安全カバー

### 業務内容 安全カバー専業として成長し次のフェーズへ

安成板金工作所は日本で数少ない、機械安全カバーの開発・設計・製作に特化した企業。昭和25年に建築板金で創業したが、高度成長期に日本の工場での多くの労災を目の当たりにし、製造現場の環境を改善しようと安全カバーの専業になった。独自の加工法によりカバーの強度を保ちつつ軽量化する技術を武器に、送風機や農機具、家電など多様な安全カバーの市場を獲得している。近年は、国内の金属加工業者が減少する中、複数顧客から「安全カバー以外の加工も任せたい」との声を受け、人と設備の増強に着手。あえて強みでもあった〝専業〟を脱し、次の成長段階へ移行しようとしている。

### 強み 凹凸やツバで「金属薄板なのに強固」を実現

通常は、厚板を溶接した構造にすれば強固なカバーが得られる。そんな概念を覆すのが安成板金のものづくりであり、薄板に凹凸や段を付けたり曲げ加工でツバを付けたりして軽量で強固なカバーを作り出す。安成孝則社長は「板の厚みや形状、面積などから、どの位置に段や曲げを入れれば強度を保持できるか割り出す。これは、長年蓄積してきたノウハウがあるからできる」と胸を張る。安全性はカバーには必須の要件。また、軽量性にもこだわるのは、顧客である機械・設備メーカーの作業者の取付時間や身体的負担を軽減するためだという。〝安全性と軽量化への挑戦！〟をテーマに開発と製造を日々続けている。

### 人員体制 働きやすい会社づくりを経営の中核に据える

安全カバー以外で新たに受注し始めたのは、筐体や送風機の羽根など未知の領域。安成社長の「ありがたいことに顧客が『2―3年かけて教える』と言ってくれた」との言葉からは、信頼性と将来性の両方で顧客に見込まれたことがうかがえる。現場作業員の平均年齢は30代前半と、製造業の中では非常に若く、女性も積極的に雇用し、溶接やCAD作業で活躍している。安成社長は大手家電メーカー出身。「プライベートがあっての仕事」とし、残業を極力させない生産計画や、「健康経営優良法人」の認定など、働きやすい会社づくりを経営の中核に据えてきた。活気ある現場は今、挑戦する意欲に満ちている。

**社長あいさつ**

代表取締役
**安成 孝則さん**

創業72年を迎え、100年企業をめざして一つひとつの仕事に向き合っています。幸い、若い人を含め定着率が高く、100年企業となる頃には、今の若手が私と同じ立場で頑張ってくれるはず。企業価値を高め、従業員から「継ぎたい」と言ってもらえる会社にしたいと考えます。

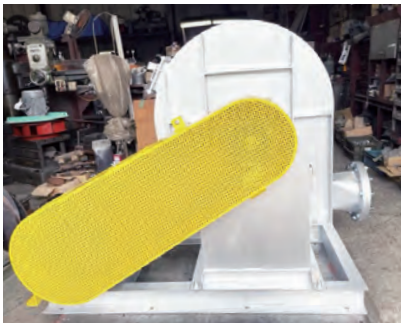
**主な保有設備**

- レーザ加工機 ML2512HVほか 三菱電機製 2台
- ファイバレーザ溶接機 FMW-1500 HSG製 1台
- ブレーキ アマダ製 4台
- シャーリング アマダ製 1台
- マルチワーカー CW-40 タケダ機械製 2台

大阪 04

住　所／〒581-0039 八尾市 太田新町3-91
ＴＥＬ／072-949-1381
ＦＡＸ／072-949-7937
創　業／昭和25年3月
設　立／昭和56年7月
資本金／1,000万円
従業員／14名

充実した生産設備が同社のものづくりを支える


送風機の安全性を高めるベルトカバー

https://www.kk-yasunaribankin.co.jp/